

令和 6 年度 松伏町行政説明会 会議録

開催日	令和 6 年 5 月 16 日 (木)		開催場所	松伏町中央公民館 田園ホール・エローラ		
開閉日時	開会	令和 6 年 5 月 16 日 (木) 午後 7 時 00 分				
	閉会	令和 6 年 5 月 16 日 (木) 午後 8 時 45 分				
町長	鈴木 勝		副町長	鈴木 寛		
行政説明会説明員	総務課長	目黒 健二	企画財政課長	鈴木 英樹	税務課長	坂巻 正士
	会計管理者	渡辺 明子	議会事務局長	石川 敏	住民ほけん課長	松本 邦彦
	いきいき福祉課長	本多 登	すこやか子育て課長	桐 義博	環境経済課長	後藤 秀徳
	まちづくり整備課長	岡田 純明	新市街地整備課長	兵頭 勇	教育総務課長	坂寄 秀彰
	教育文化振興課長	黒田 和範				
行政説明会参加者数		95名	書記			

	発 言 者	内 容
会 議 進 行 状 況	総務課主幹	開 会
	町 長	開会あいさつ
	総務課主幹	説明員等の紹介
	企画財政課長	<p>令和 6 年度松伏町当初予算の概要について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和 6 年度松伏町当初予算編成に伴う総括及び予算規模 ・ 松伏町第 6 次総合振興計画に基づいた各分野における予算状況（新しい取組み等） ・ 令和 6 年度松伏町主要事業
	いきいき福祉課長	<p>「高齢者福祉計画・第 9 期介護保険事業計画」の策定における令和 6 年度から令和 8 年度までの介護保険料について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 増額の主な理由及び保険料の比較 <p>【質疑応答】</p>
町民 1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 松伏田島産業団地や大川戸地区産業団地の倉庫事業の採算性は、どうなっているのか。また、県道春日部松伏線などの幹線道路を通る大型トラックが多くなってきているが、幅員が狭いままだと何か事故などが起きるのではないか。 ・ 何も無い松伏町に道の駅ができて、カレーだけで誤魔化せるのか。 ・ 私が町に引っ越してきた際の人口は 32,000 人で、現在は、4,000 人減った 28,000 人になっているが、どのような人口減少対策を考えているのか。 ・ いつ鉄道ができるのか、教えてほしい。 	

	発 言 者	内 容
会 議 進 行 状 況	町 長	<p>人口減少の一番の要因は、町が交通の便が不便だということだと考えている。これから質問が出ると思うが、松伏町が消滅可能性自治体となった。これは、20代から39歳までの出産可能な女性の人数が、人口の50%以下になる自治体ということの意味している。これを食い止めるためにも、転出しようとした時に松伏町というものが頭の中に浮かんでこないとならない。先般、賑わいを創出するという意味でも道の駅を第6次総合振興計画のなかで位置づけさせていただいた（12月議会で議決済）今後、高速道路が完成し、一日何万台という車が通りすぎるなか道の駅が無ければ、町は通過するだけの地域となりPRする機会も失ってしまう。道の駅の経営の方法は決まっていないが、民間の力を最大限に活用し松伏町の知名度を向上していきたい。</p> <p>産業団地の採算性というお話もあったが、これは県の企業誘致事業であり、町が損失しているわけではないので理解いただきたい。今、建設関係の大型車などが町に入ってきているが、令和7年春には、東埼玉道路の側道が田島まで開通する予定で進められている。その後、4号バイパスに繋がり、高速道路（高速部）が出来て有料道路として八潮から五霞インターまで繋がることから、埼玉県の一部が注目されている。</p>
	新市街地整備課長	<p>大川戸地区は建物が完成しており1億程度の税収がある。松伏田島地区は、建物が完成してないため土地だけの税収が約2,000万円で、建物が完成してくれば数億の税収が入る予定である。心配されている道路の問題については、令和7年春に東埼玉道路側道部（東京方面）が開通し、それに併せて、東西方向の浦和野田線が開通することになるので、町も期待しながら企業誘致を進めている。</p> <p>また、道の駅については、道の駅を拠点（東埼玉道路沿い）としたBRT（バスを使った交通システム）を5市1町で研究し、国などに要望活動を行っており、是非、実現させていきたいと考えている。</p>
	企画財政課長	<p>人口減少対策については、第6次総合振興計画の策定にあたり、町としても重要な課題と考えている。リーディングプロジェクトのなかで子どもや高齢者にやさしいまちづくりや次世代に繋ぐ活気と賑わいのあるまちづくりということで子育て施策や高齢者施策を積極的に進めていきたいと考えている。また、働く場の創出（職住近接）や公共交通の検討などを行い人口減少に歯止めをかけていきたい。</p>

	発 言 者	内 容
会 議 進 行 状 況	町 長	<p>鉄道（地下鉄 8 号線）については、なかなか誘致が難しい状況ではあるが、令和 5 年度に、地下鉄 8 号線建設促進誘致期成同盟会に足立区が加入した。今では、埼玉県要望や千葉県要望に加え、東京都にも要望活動を行っており、今までと比べ少し進展があった。</p>
	町民 2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予算概要 P3 の学校給食供給事業は 3 期、4 期の見通しはどうか。 ・ 予算概要 P8 のカレーのまち推進事業の成果、特徴を教えてください。 ・ 予算概要 P10 の持続可能で利便性の高い快適空間のまちづくりのなかで、町道何号線と示されているが、番号で言われてもわからないのでわかりやすく工夫してほしい。 ・ 予算概要 P11 の松伏町地域公共交通計画の計画期間（R7～R11）の 5 年間に具体的な進展はあるのか ・ 予算概要 P12 の移動式ポンプの有効性を教えてください。 ・ 予算概要 P14 の第 6 次総合振興計画の推進に農業に関する記述がない。まちの将来像に「みんなの笑顔を未来へつなぐ 緑あふれるまち まつぶし」とあるが、緑あふれるの「緑」は、どんなことをイメージしているのか。 ・ 予算概要 P15 に整備箇所が記述されているが、やはり町道番号がわかりにくいのでわかりやすくしてほしい。
	町 長	<p>給食の無償化は、国の補助金等を使い 4 月分と 5 月分を無償化とした。財源的には、小中学校の給食費を無償化するには、1 億 3,000 万円から 5,000 万円かかるが、松伏田島産業団地が完成し稼働すると財源が確保できるものと考えている（第三子の無償化から徐々に拡大していきたい）</p> <p>カレーのまちづくりは、5 周年を迎え「カレー川柳」を募集しカレンダーを作ることになり、全国から 2,016 件の川柳が集まった。</p> <p>公共交通活性化協議会には、バス会社 2 社、タクシー会社 2 社、年齢別、地域別の方たち、学識経験者などに協力いただき公共交通の在り方を検討しており、バス会社やタクシー会社の労働組合の方に参加頂いているのが特色と考えている。5 年間何もやらないわけではなく、実行可能なところから徐々に進めていきたいと考えている。また、スマホでバスの位置がわかるシステムも導入している。</p> <p>移動式ポンプの件については、町で一番水が出てしまう長宮地区に設置するものである。長宮地区には、災害時に国がポンプを設置する場合もあるが、そのポンプと同等のものを据え付けて浸水被害</p>

	発 言 者	内 容
会 議 進 行 状 況		<p>を回避していきたい。 農業に関することについては、町は米農家が多いのが特色で、寺前地区のポンプ場の更新を行い、田植え時期に十分な水が入るようにしていきたい。野菜農家も育成していきたいと考えているが、自分で値段を付けて売る場所がなく農業に夢を持ってないと状況と考えているので、地産地消をPRして若者が農業に夢を持てるような施策のひとつとして道の駅が必要と考えている。</p>
	教育総務課長	給食費の無償化は1億円以上の予算となるので、優先順位を考えながら検討していく。
	まちづくり整備課長	<p>町道番号がわかりづらいという点については、わかりやすい資料が作成できるよう検討する。 今回、購入する移動式ポンプについては、1分間に10m³の水を排水できる能力（小学校25mプールが36分で排水）となる。町には既に2台あって、追加で2台配備する予定である。</p>
	環境経済課長	<p>P14の下段にある「4. 活気あふれるにぎわいのまちづくり」は、第6次総合振興計画の大綱4の部分であり産業振興が触れられており、そのなかに農業の振興が位置づけられている。 現在、町では農地の課題について取り組んでおり、高齢化や人口減少の本格化による農業者の減少や耕作放棄地の拡大により、地域の農地が適切に利用されなくなることを懸念している。 今後、農地が利用しやすくなるよう農地の集約化に向けた取り組みをしているところであり、農業の地域計画を策定している。今後10年間に、どのように担い手を募りながら、農地を集約し効率を上げていくかという計画を、今年度策定する予定である。</p>
	企画財政課長	P11の松伏町地域公共交通計画については、令和6年度中に策定する予定である。計画では、町の公共交通の現状の把握、町民のアンケート調査やビッグデータを用いた人の移動の実情等を分析し、町にとって望ましい公共交通を検討していくものである。具体的な施策はこれからとなるが、令和6年度に計画を示して、5年間で進めていくことになる。
町民2	<ul style="list-style-type: none"> 移動式ポンプを洪水の危険がある長宮地区に車で運ぶということだが、廃車になった消防車などを活用してはどうか。 	

	発 言 者	内 容
会 議 進 行 状 況	町 長	<ul style="list-style-type: none"> ・「緑あふれる」という言葉のイメージの説明をしてほしい。 ・町道番号の標記もできれば主な町道の出入口に標識のように示せないか。 <p>長宮地区には、すでに 3 機のポンプが設置されていて、足りない場合に移動式ポンプを設置するものである。</p> <p>次に、「緑あふれる」に関しては、松伏町が高齢者や子どもたちの給食無償化をするにも財源が必要で、財源を確保するには開発が必要である。ただ開発するだけでは心が潤わないので、開発する部分と自然を保全する部分のバランスを取りながら緑あふれるまちづくりをしていきたいと考えている。</p>
	まちづくり整備課長	<p>長宮地区には常設しているポンプが 3 箇所（三栄会館、弥太郎雨水幹線流末、河野鉄工建設マンホールポンプ）あり排水している。今回、購入する移動式ポンプは長宮地区だけでなく、他の地区でも利用することも想定している。もっと長宮地区にポンプを増設すれば良いのではという考えもあるが、河川に流せる水の量については、河川管理者と協議し決める必要がある。地域の安全を最優先に考え、内水対策を検討していきたい。町道番号のわかりやすい表示については、今後の検討課題とさせて頂きたい。</p>
	町民 3	<ul style="list-style-type: none"> ・ P14 に将来の目標人口 28,000 人とあるが、その根拠を教えてください。
	町 長	<p>今、全国に 1,729 の自治体があり、そのうち 744 の自治体が民間の人口戦略会議において消滅可能性自治体となった。20 歳から 39 歳の若年女性の人口が 30 年後に 50%以下になり、そのまま継続すれば自治体が消滅するという危機感を煽るような言葉である。自治体は合併しない限り無くならない。</p> <p>ただし、経営的には苦しくなる。要介護になる人達は若者が支えなければならない。昔、高齢福祉についてはお神輿型だった。つい最近までは騎馬戦型で、これからは肩車型で一人の若者が一人の高齢者を背負う時代になっていく。そうしたなかで生産年齢人口、いわゆる 20 歳から 65 歳あたりまでの生産年齢人口を太らせていかないと、その地域の高齢福祉がやっていけないという危機感を煽る言葉である。そういう意味でも消滅可能性自治体の対策本を読むと、20 歳から 39 歳までの女性が、その</p>

	発 言 者	内 容
	企画財政課長	<p>町に残る施策が必要と書かれている。</p> <p>そういうなかで企業誘致をして女性を正社員で雇ってくれる企業が町にたくさんある方が良い。出生率は、子どもを産むことができる女性の数を分母にして産まれた子どもを計算するから1.2・・・という数字がでるが、実質的に必要なのは、その町に産まれてくる子どもの数が必要になってくる。</p> <p>昨年度、町で産まれた子どもの数は105人くらいでした。後期高齢者になる75歳以上の方は715人くらいいるので、七分の一しか産まれてきていない。先日、二十歳を祝う会の案内を出したのが323人くらいでしたので、この20年間で1年間に10人くらいずつ産まれなくなっている。先ほども言いましたが、自治体は無くなりません。しかし、自分の子どもが地元に残るような町を皆さんで作っていかなければ、豊かな高齢福祉を支えることはできなくなることは確かである。</p> <p>総合振興計画を策定するうえで人口推計をしており、計画期間の令和15年度には25,000人まで減少することになっている。それをリーディングプロジェクトや様々な子育て施策、人口流失を食い止める施策などを行いながら、10年後でも28,000人を維持できる目標とした。</p>
	町民4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供医療費の要件に4月1日時点在住とあるが、それ以降に転入してきた方はどうなるのか。 ・ P9の雇用促進奨励事業の該当する従業員は正社員だけなのか。 ・ 先ほどから町長が話しているなかで、人口増のために女性がとか、女性が働きやすいとかなど「女性」が強調されているように思うが、子育て世代とか若者とか、そういう表現で説明した方が良いのではないか。 ・ 道の駅は、造ること有りきで説明されているが、まだ、決定されていないと思われるが如何か。
	町 長	<p>先日の消滅可能性自治体という民間の戦略会議での計算式の表現が女性となっているので御理解頂きたい。もちろん町を豊かにするのは男性も必要ですし生産年齢人口が豊かになることも必要である。新聞記事を読んで頂ければ女性の減少を中心に計算したと書かれているので御理解いただきたい。道の駅に関しては昨年12月議会において、13名の議員のうち11名の議員が、第6次総合振興計画に道の駅を記述した内容で可決しているため決定したものと認識している。</p>

	発 言 者	内 容
	すこやか子育て課長 新市街地整備課長 町民 5 町 長 いきいき福祉課長 総務課主幹	<p>4月1日以降に転入された方は、申請頂ければその転入された日から対象になる。</p> <p>雇用促進奨励金は、非正規の方やパートの方も対象になるが、労働者にお支払いするのではなく会社に支払うものとなる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消滅可能性都市から脱却した自治体を見ると、企業誘致が大きく影響していると思うが、今回の予算概要には企業誘致に力が入っていないように思えるので、今から種をまいたらどうか。 ・松伏町の7期、8期の保険料は全国平均などと比べ安くなっているが、介護サービスを利用できるという面で考えると、年寄りには逆に厳しい状況ではないのか。 <p>種をまかなければ実ができませんので種をまいていきたいと考えている。第6次総合振興計画のなかでは、東埼玉道路が開通する周辺に企業誘致を誘導する区域を3箇所ほど位置づけさせていただいた。上位計画に位置づけがないと、国や農林部局は企業誘致を認めてくれないので、しっかりと種をまいていきたい。</p> <p>介護保険料は吉川市が一番安いですが、吉川美南駅が出来て開発地区に若者がたくさん入ってきた訳ですが、介護保険料を支払うような年齢層がたくさん入ってきて、いわゆる人口で割ると吉川市の介護保険料が安くなっている。</p> <p>ご指摘のとおり、町では平成27年度から令和5年度までの9年間の保険料を引き下げ、または据え置きし運用を行ってきた。今回9期計画を策定するにあたっては、社会変化の状況や8期の給付実績等を判断し、今後は、より厳しくなるものと認識しており、長期的な安定、適正な運用を心がけていきたいと考えている。</p> <p>誠に恐れ入りますが、時間の都合上、ただいまの質疑をもって終了とさせていただきます。本日は長時間に渡り、ご出席いただき誠にありがとうございます。貴重なご意見を多くいただいたことを感謝しております。本日は誠にありがとうございました。</p>